

令和 3 年度

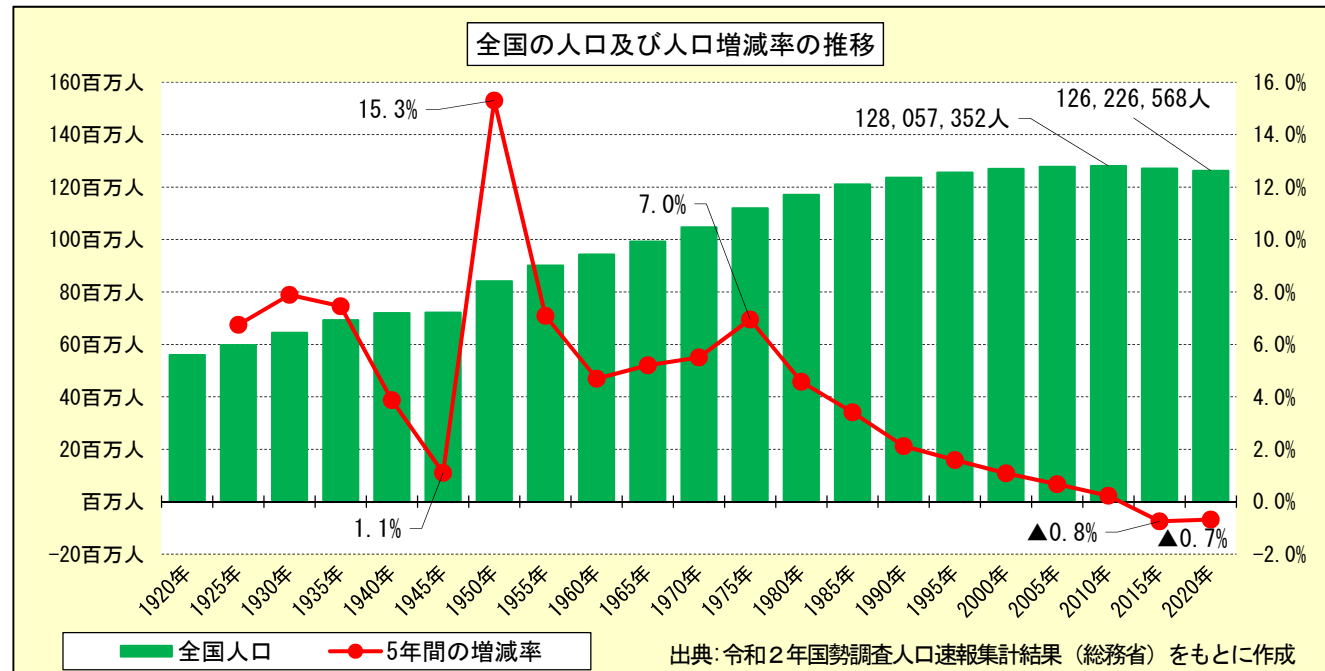
# 第 1 回四万十市産業振興計画フォローアップ委員会



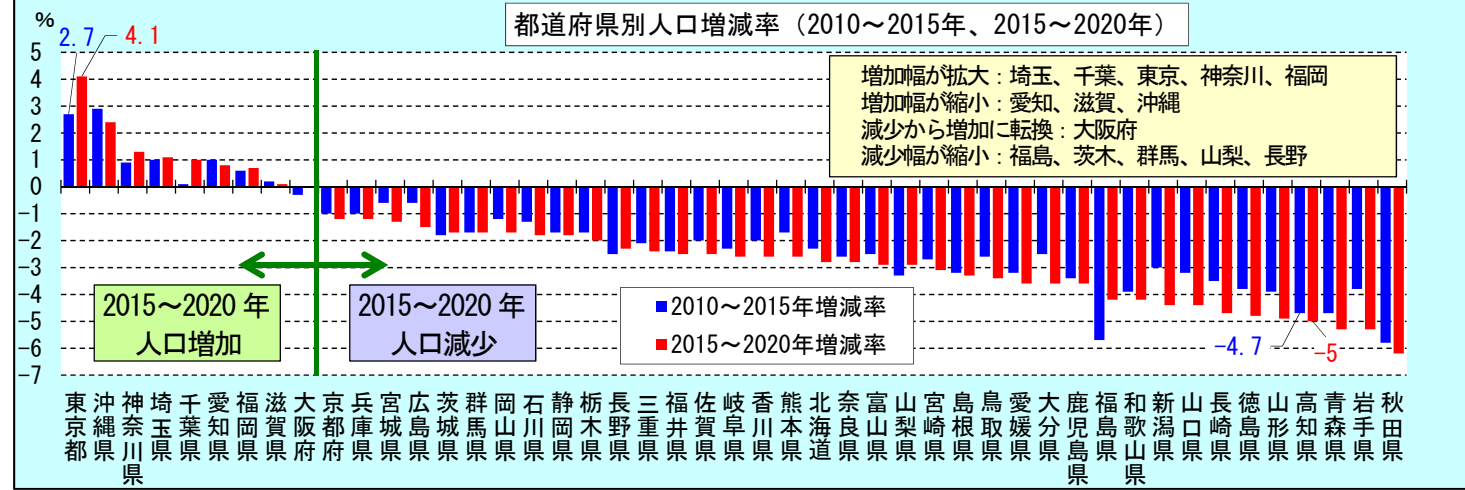
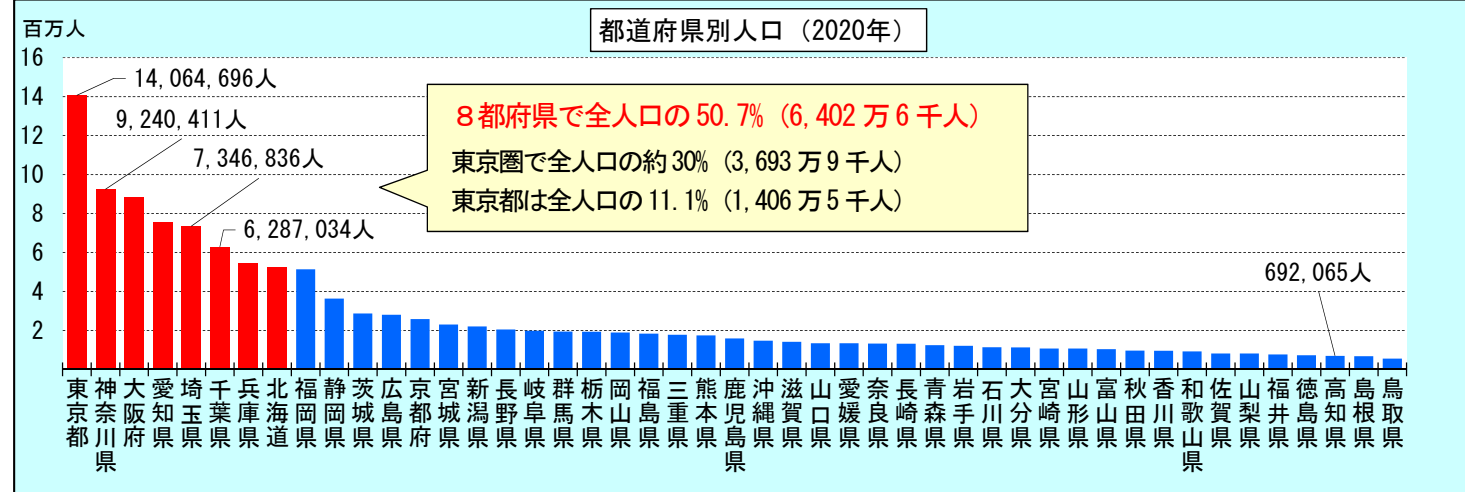
- 1 四万十市の人口状況等
- 2 四万十市の産業状況等
- 3 令和 3 年度上半期の各産業分野の動き

# 1 四万十市の人口状況等①

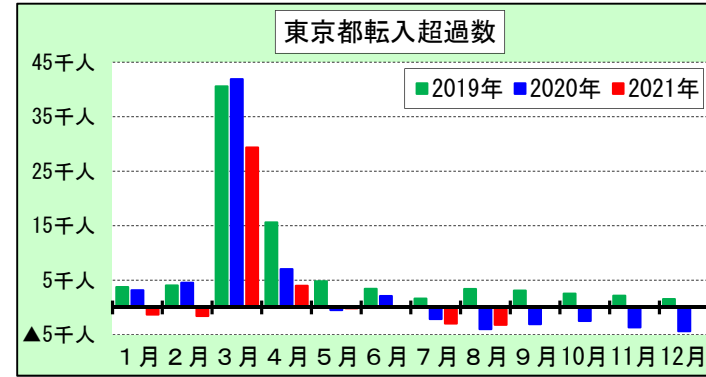
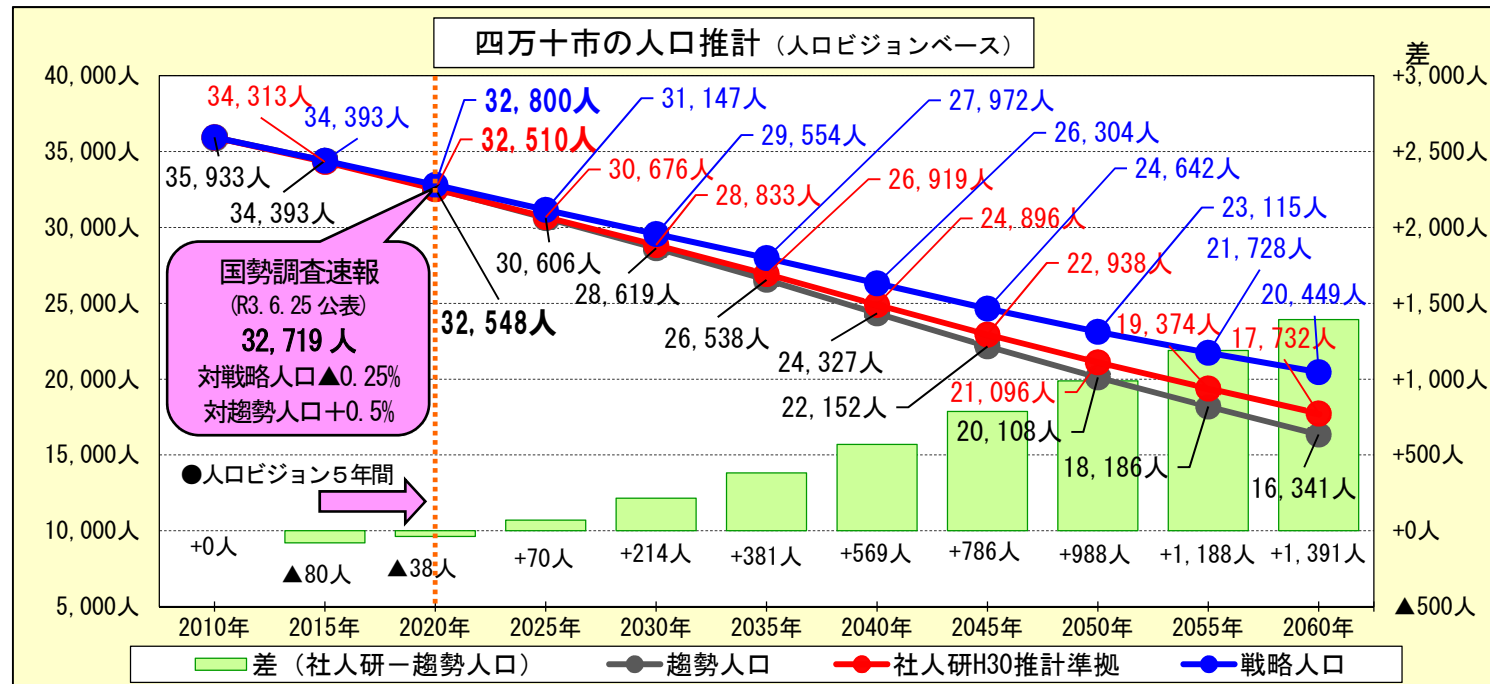
## 1 国勢調査の結果（速報値）について



- 日本の人口は1億2,622万7千人（R2.10.1現在）
- 2015年と比較して86万8千人減少（0.7%減、年平均0.14%減）
- 1940～1945年は戦争により人口増減率が減少
- 1945～1950年は「第1次ベビーブーム」、1970～1975年は「第2次ベビーブーム」
- 人口増減率は2010～2015年に調査開始後初めて減少となる
- 2020年の世界の人口は77億9,500万人（国際連合の年次推計）
- 上位は、中国14億3,900万人、インド13億8,000万人、アメリカ3億3,100万人
- 日本は11番目。上位20か国で2015年～2020年の人口増減率が減少となっているのは日本のみ

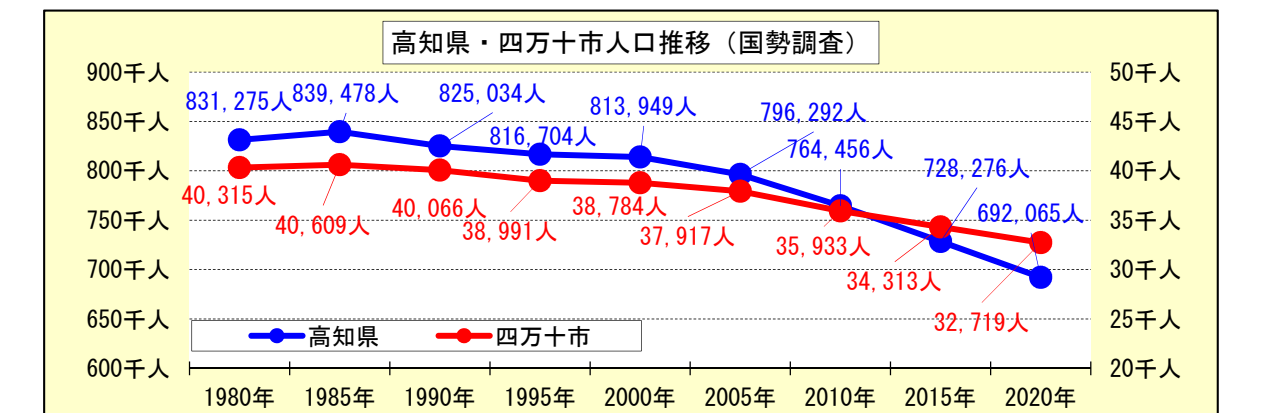


## 2 高知県・四万十市の人口（速報値）



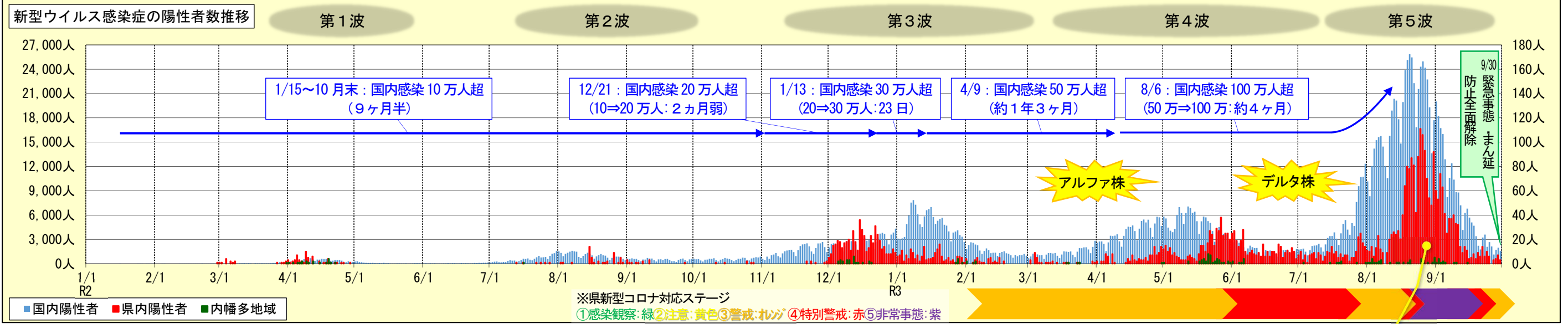
	2019年①	2020年②	前年比較②-①
東京圏	145,576人	98,005人	↓47,571人
名古屋圏	▲11,515人	▲12,275人	↓760人
大阪圏	▲3,857人	▲1,118人	↑2,739人

↑ 出典：住民基本台帳人口移動報告（総務省）（日本人移動者）



# 1 四万十市の人口状況等②

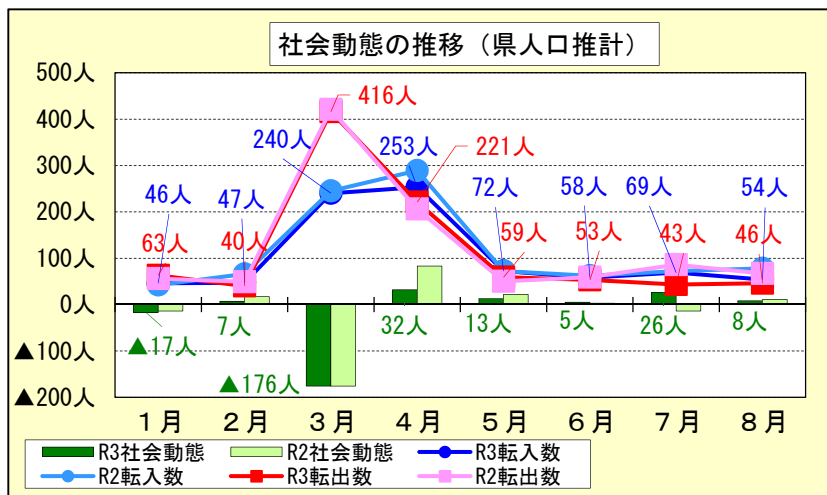
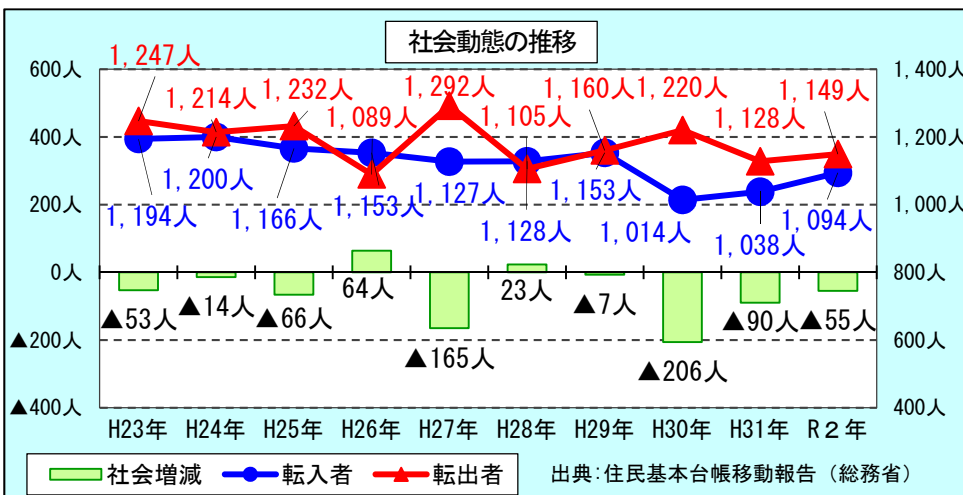
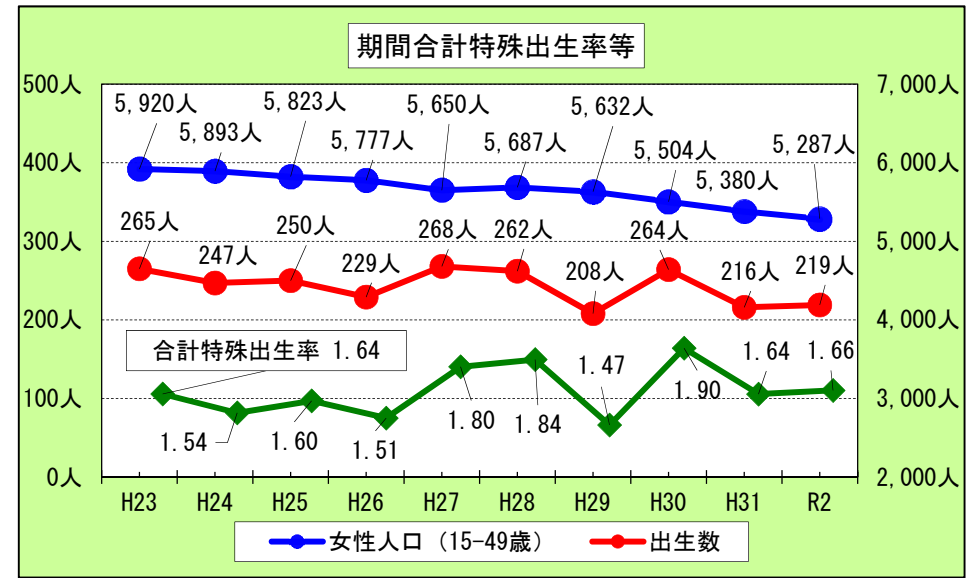
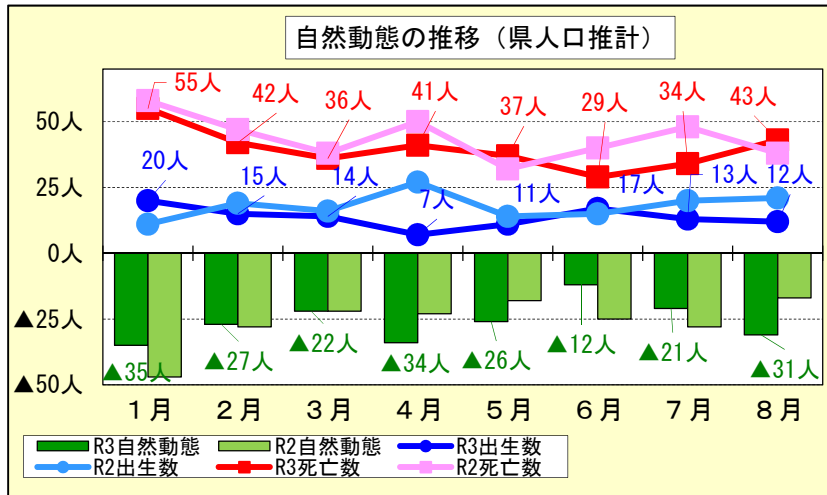
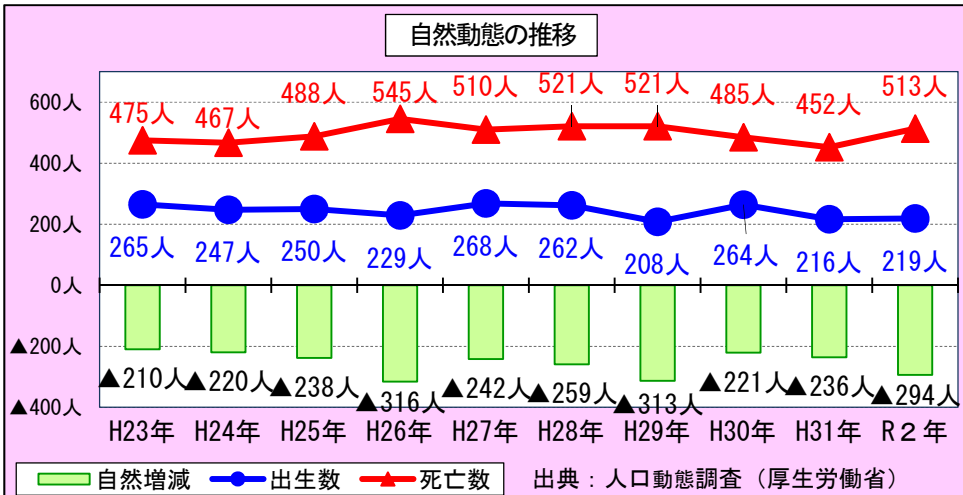
## 1 新型コロナウイルス感染症の状況



出典：国内陽性者は厚生労働省「オープンデータ」の数値、県内及び幡多地域陽性者は高知県の発表数値

高知県まん延防止等重点措置 (8/27~9/12)

## 2 四万十市の人口移動等

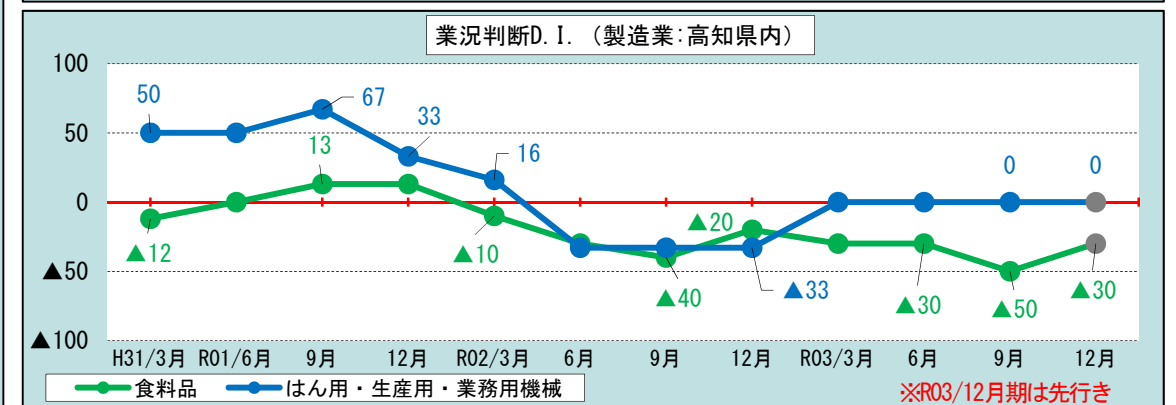
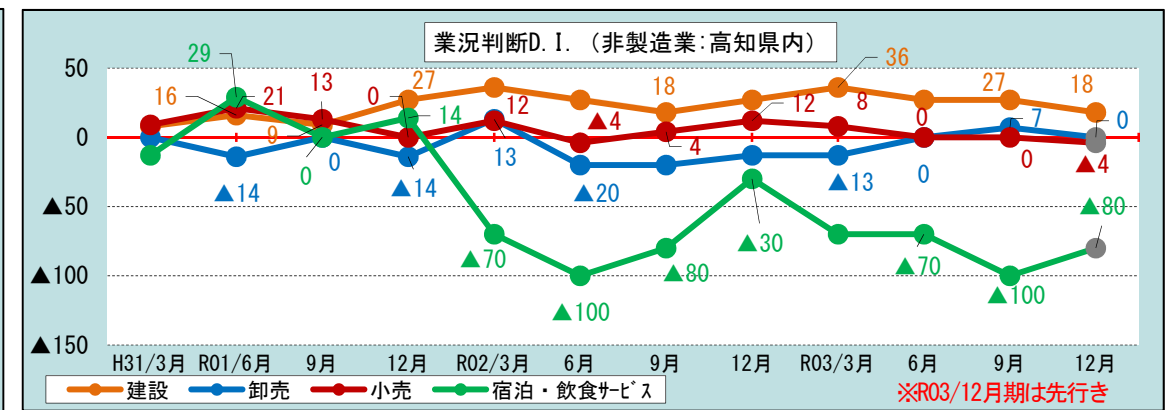
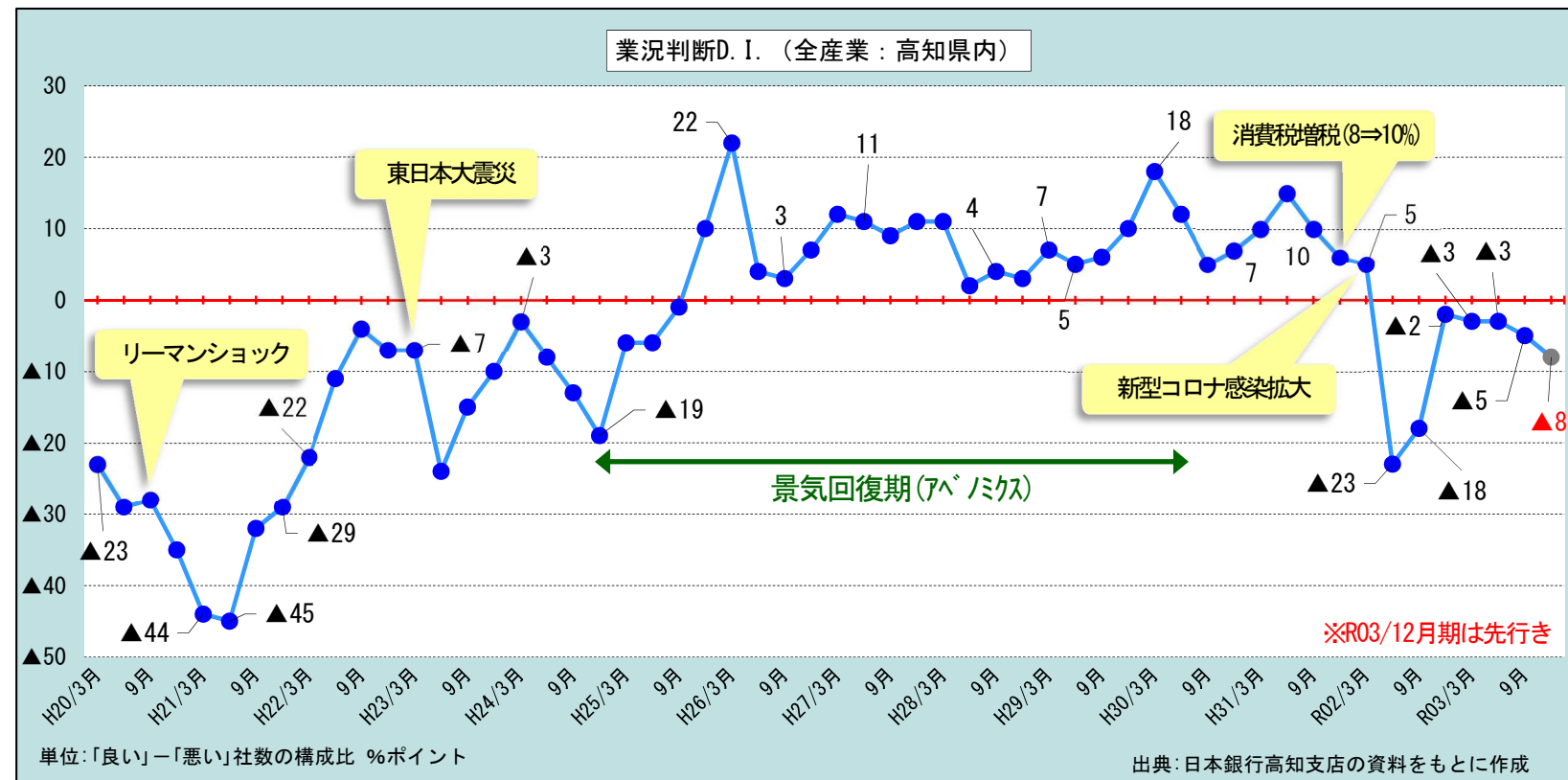


自然動態・社会動態 1~8月の合計 (県人口推計)

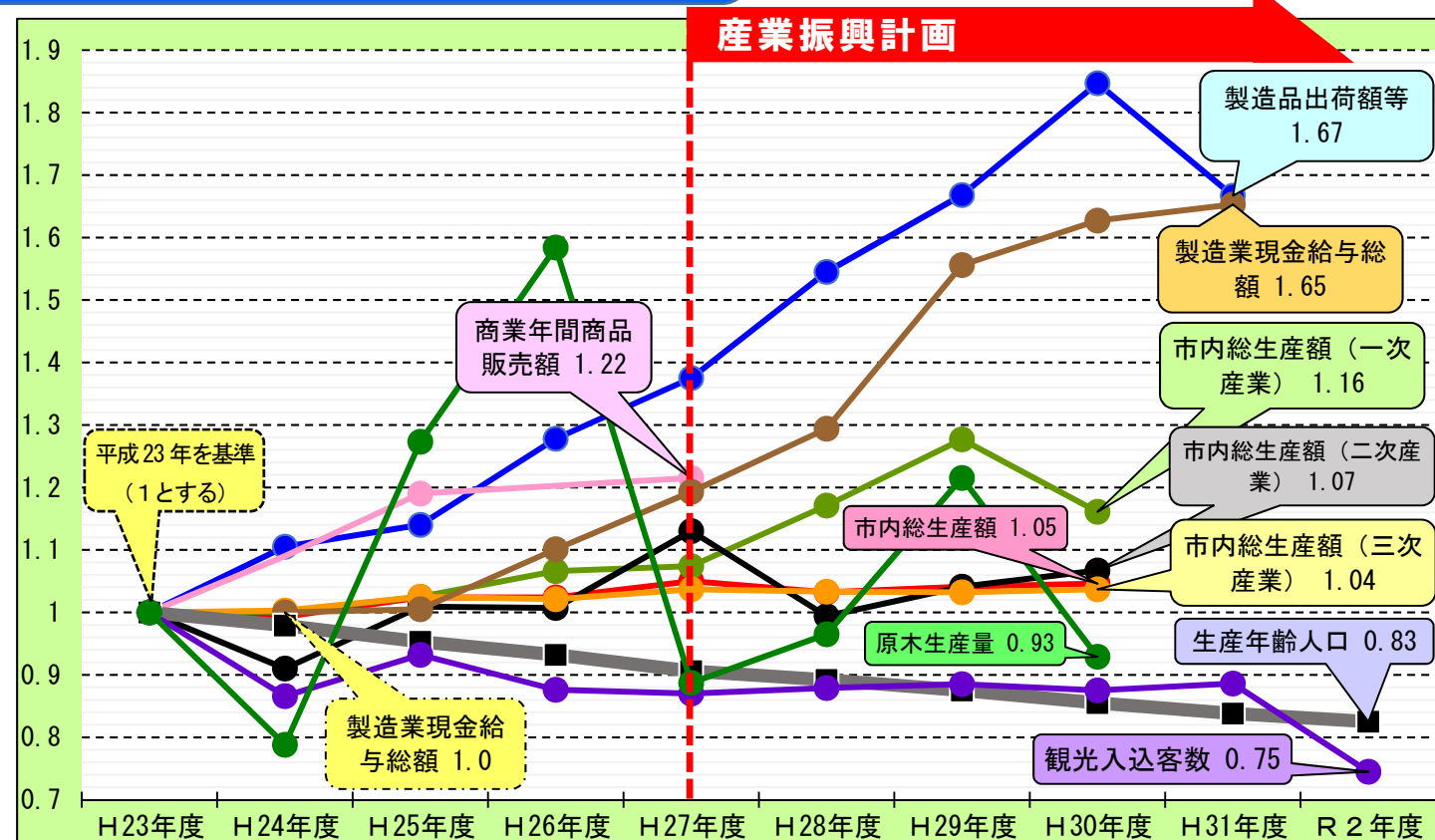
R3 出生数	109人	R3 死亡数	317人	R3 自然動態	▲208人
R2 出生数	143人	R2 死亡数	351人	R2 自然動態	▲208人
R1 出生数	138人	R1 死亡数	317人	R1 自然動態	▲179人
R3 転入数	839人	R3 転出数	941人	R3 社会動態	▲102人
R2 転入数	926人	R2 転出数	994人	R2 社会動態	▲68人
R1 転入数	863人	R1 転出数	997人	R1 社会動態	▲134人

## 2 四万十市の産業状況等①

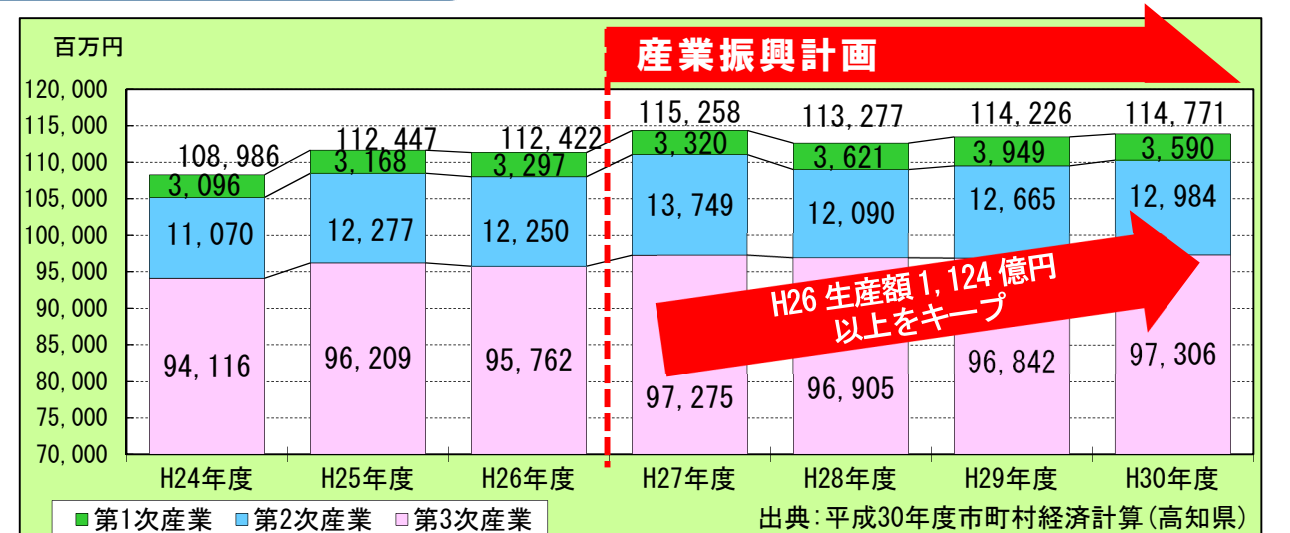
### 1 高知県内の業況判断



### 2 四万十市の生産・販売・出荷額の状況



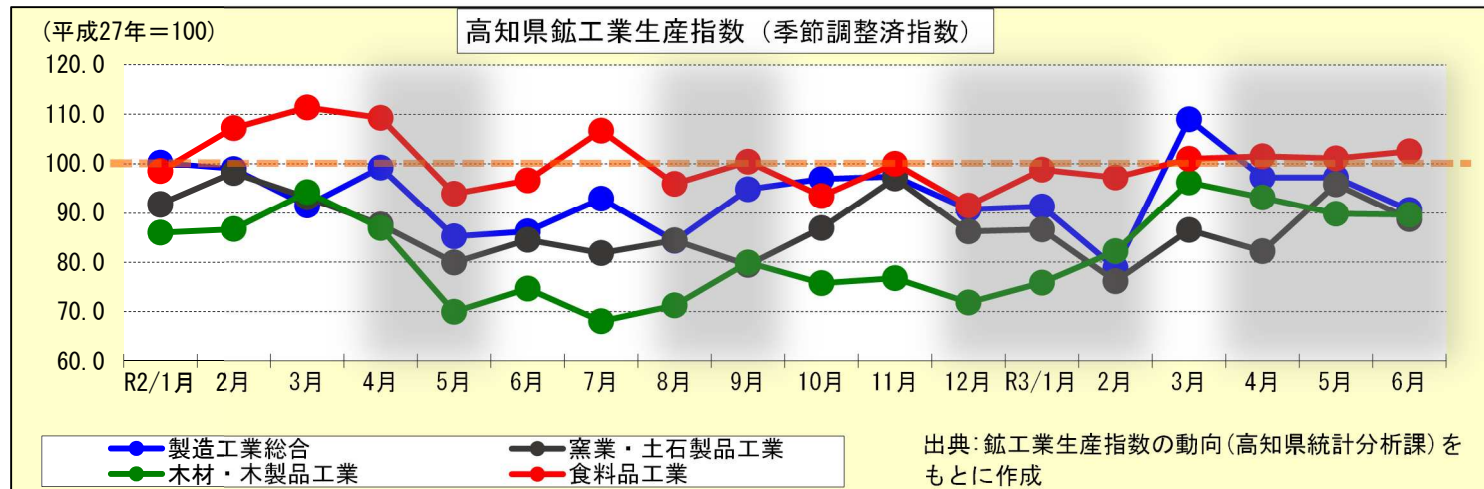
### 3 市内総生産額



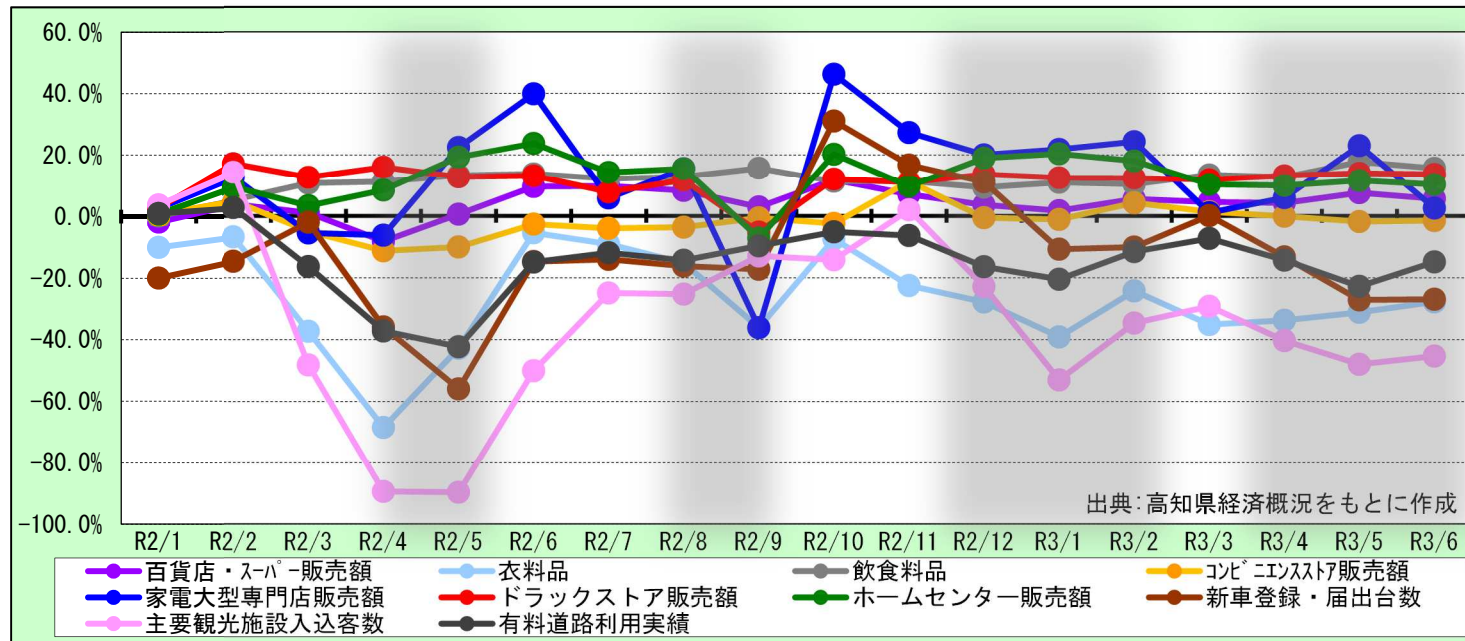
	平成29年度	平成30年度
県内総生産額	2兆4,137億円 (+0.5%)	2兆4,190億円 (+0.2%)
総生産額が1,000億円を超える市町村	①高知市 1兆1,964億円 (▲0.5%) (※県内総生産の49.6%) ②南国市 1,919億円 (▲2.6%) ③四万十市 1,142億円 (+0.8%)	①高知市 1兆1,898億円 (▲0.6%) (※県内総生産の49.2%) ②南国市 1,986億円 (+3.5%) ③四万十市 1,148億円 (+0.5%)

## 2 四万十市の産業状況等②

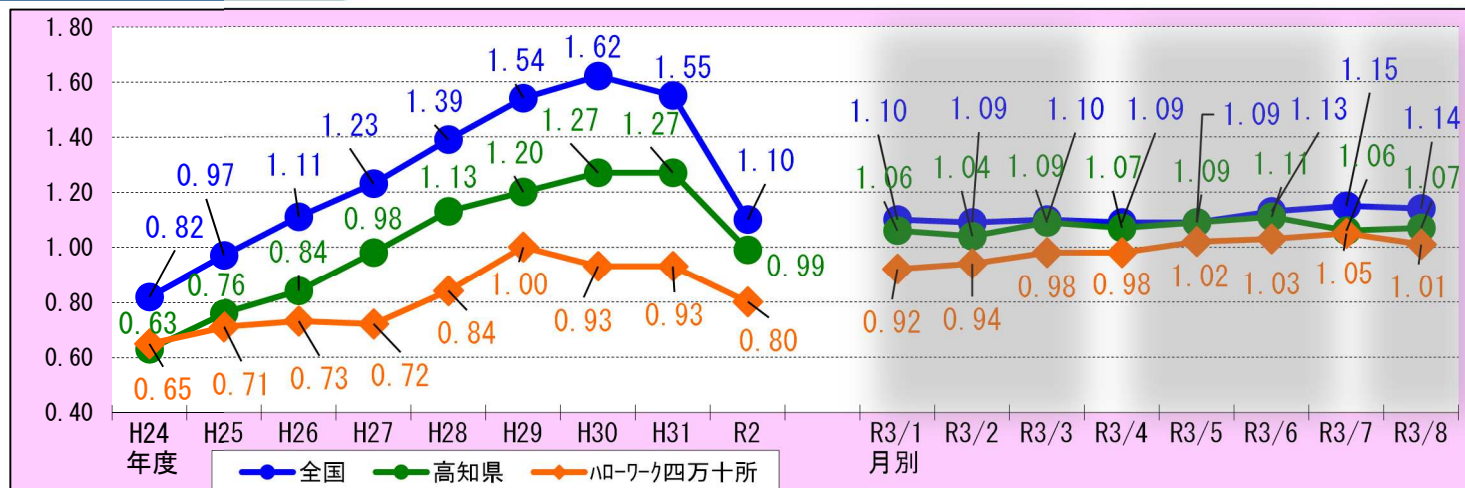
### 4 鉱工業統計指数



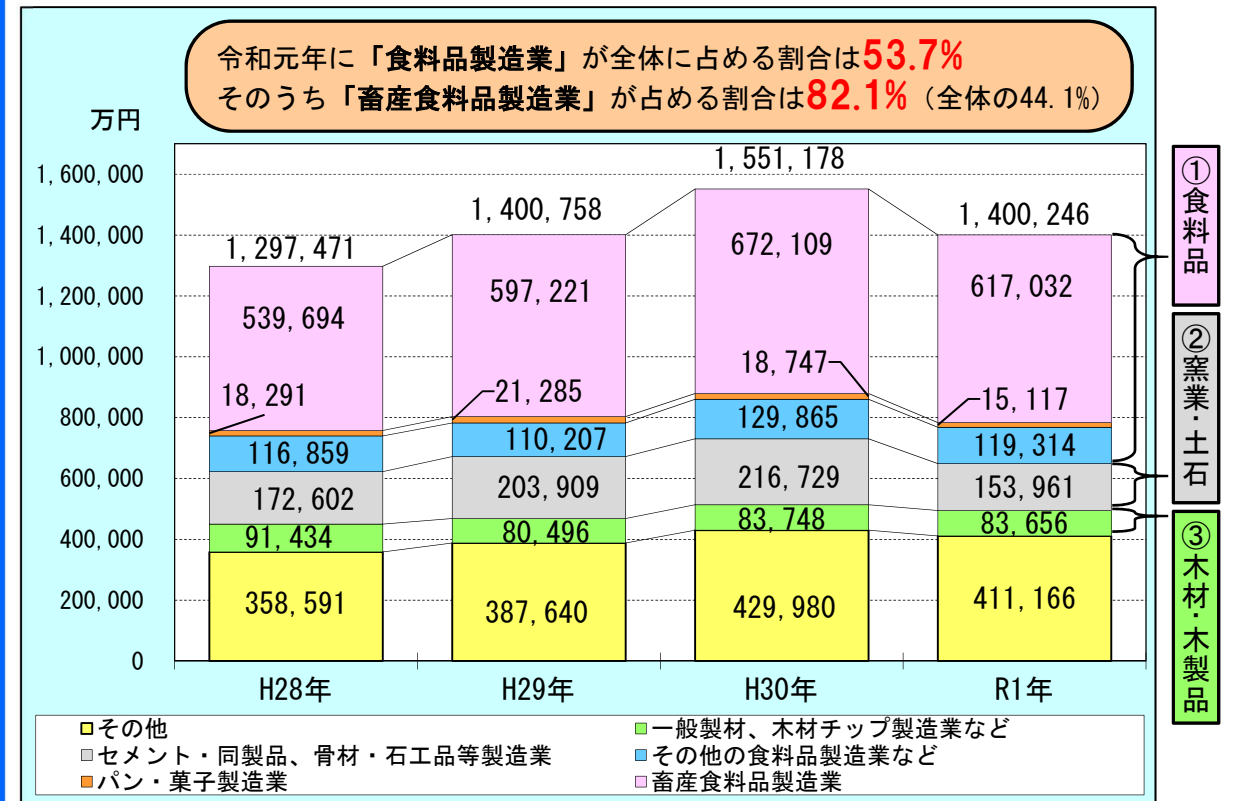
### 5 県内の経済概況 (消費: 令和元年同月比)



### 6 有効求人倍率



### 7 四万十市製造品出荷額等上位3区分 (中分類)



産業分類 (中・小)	H28年	H29年	H30年	R1年	前年比 (R1/H30)
09食料品製造業	674,844 (21)	728,713 (24)	820,721 (22)	751,463 (17)	91.6%
091畜産食料品製造業	539,694 (4)	597,221 (6)	672,109 (6)	617,032 (6)	91.8%
092水産食料品製造業	X (3)	X (3)	83,118 (3)	86,284 (3)	103.8%
093野菜缶詰・果実缶詰・農産 保存食料品製造業	— (—)	X (1)	X (1)	— (—)	—
094調味料製造業	X (2)	14,570 (4)	X (2)	X (2)	X
097パン・菓子製造業	18,291 (6)	21,285 (6)	18,747 (5)	15,117 (3)	80.6%
099その他の食料品製造業	35,523 (6)	26,041 (4)	33,301 (5)	21,214 (3)	63.7%
21窯業・土石製品製造業	172,602 (5)	203,909 (5)	216,729 (5)	153,961 (5)	71.0%
212セメント・同製品製造業	X (3)	X (3)	X (3)	X (3)	X
218骨材・石工品等製造業	X (2)	X (2)	X (2)	X (2)	X
12木材・木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	83,656 (5)	99.9%
121製材業、木製品製造業	91,434 (5)	80,496 (4)	83,748 (4)	83,656 (5)	99.9%
その他	358,591 (18)	387,640 (20)	429,980 (18)	411,166 (19)	95.6%
合計	1,297,471 (49)	1,400,758 (53)	1,551,178 (49)	1,400,246 (46)	90.3%

※カッコ内の数値は事業所数  
※記号の「—」は該当数値無し、「X」は秘匿とするもの

## 2 四万十市の産業状況等③【新型コロナウイルス関連】

### 四万十市における新型コロナウイルス感染症対策の概要 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金関連)

令和3年度の主な活用事業〔9/29時点:予定含〕

事業費：4億6,160万円・・・うち臨時交付金活用額：配分予定3億1,427万円

#### 緊急経済対策・・・事業費4億4,359万円

##### I 感染防止対策と医療体制の整備及び治療薬の開発・・・事業費1億3,200万円

- ・観光施設感染防止対策（トイレ洋式化、空調整備など）〔4,466〕
  - ・保育、学校、スポーツ施設感染防止対策（感染防止用資材、施設改修など）〔5,962〕 **追加予定含む**
  - ・防災、消防施設感染防止対策（トイレ洋式化、空調整備改修など）〔638〕 **追加予定含む**
  - ・公式HPリニューアル（情報発信体制整備）〔1,667〕
- など

##### II 雇用の維持と事業の継続・・・事業費2億971万円

- ・地域産品販売促進事業〔1,000〕
  - ・四万十市営業時間短縮要請対応雇用継続応援金〔3,800〕 **6月**
  - ・成人式検査費助成〔132〕 **追加予定含む**
  - ・あんしん会食推進の店認証制度支援〔2,000〕 **予定**
  - ・中小企業振興資金(感染症対策特別分)〔100〕 **予定**
  - ・修学旅行キャンセル料支援事業〔760〕
  - ・四万十市新事業開発支援〔2,000〕 **予定**
  - ・新型コロナウイルス対応基金造成〔3,160〕 **予定**
- など

##### III 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復・・・事業費6,999万円

- ・まちなかにぎわい創出事業〔1,500〕
- ・農業PR動画制作費〔180〕 **6月**
- ・しまんと市民祭花火大会支援〔500〕 **9月**
- ・屋外観光施設整備事業〔2,070〕
- ・はた旅クーポン事業II〔2,750〕 **9月**

##### IV 強靱な経済構造の構築・・・事業費3,189万円

- ・行政デジタル化推進（行政手続きオンライン化計画策定）〔2,541〕
  - ・Web会議環境整備〔473〕
  - ・地域子育て支援センターICT化事業〔100〕 **6月**
- など

#### 総合経済対策・・・事業費1,801万円

##### I 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策

- ・新型コロナウイルスワクチン接種協力金〔1,000〕 **6月** **追加分有**

##### II ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現

- ・住民票、印鑑証明コンビニ交付導入〔801〕 **6月**

※ **6月**は6月補正分  
 ※ **9月**は9月補正分  
 ※端数処理により合計が合わない  
 場合がある

#### R2～R3 産業振興に関連する主な対策

- 第1次産業事業持続化応援金 6,870千円  
R2.8.28～10.30 申請者89人(5～20万円)  
農産物5、畜産物2、林産物2、水産物2品目
- 第1次産業販売促進支援事業 6,318千円  
R2.8.28～R3.3.31 申請16件(50万円、9/10以内)  
農業13、畜産2、水産1件
- 高収益作物次期作支援交付金 30,832千円(農林水産省)  
売上減少の影響を受けた高収益作物について次期作に前向きに取り組む農業者を支援。  
R2年度実績 94件交付(80万円/10a、5.5万円/10a、2.2万円/10a)  
※R3は国と高知県で実施
- 第2次産業事業持続化応援金 4,550千円  
R2.9.1～9.30 35件交付(法人10～20万円、個人5～10万円)
- 県休業要請協力金 28,900千円(市負担額)  
R2.5.1～6.15 289件支給(県20万円、市10万円)
- 市休業要請協力金 48,200千円  
R2.5.1～6.15 432件交付(10～20万円)
- 第3次産業事業持続化応援金 66,300千円  
R2.6.8～7.10 606件交付(法人10～20万円、個人5～10万円)
- 中小企業振興資金特別分 融資総額2億9,930万円  
R2.5.15～R3.3.31 50事業者へ融資
- 商店街等活性化事業 18,793千円  
R2.6.1～R3.3.31 28件交付(10～100万円、9/10以内)
- 販売力パワーアップ事業 22,645千円  
R2.8.17～R3.3.31 58件交付(50～100万円、9/10以内)
- 営業時間短縮要請対応臨時支援金 37,700千円  
県の飲食店等への営業時間短縮要請等により大きな影響を受けた事業者に対して、県の協力金へ市独自で上乗せ支援  
R3.2.22～R3.7.30 265件交付(農業1件含)(法人20万円/月、個人10万円/月)
- 営業時間短縮要請追加協力金 10,400千円  
県の飲食店等への営業時間短縮要請等により県の協力金の支給があってもそれを上回る影響を受けた事業者に対し市独自で上乗せ支援  
R3.2.22～3.31 56件交付(10～20万円)
- 営業時間短縮要請対応雇用継続応援金 13,900千円  
県の飲食店等への営業時間短縮要請に協力した事業者及びその事業者との直接取引等により影響を受けた事業者への支援  
R3.7.31～8.31 92件交付(対象従業員×5万円等、上限50万円)
- はた旅クーポン事業 23,184千円(市負担分)  
R2.8.1～R3.1.31 市内換金状況：44,393枚、22,197千円(44,393枚×500円)
- 四万十市クーポン事業 88,763千円  
R3.1.1～6.30 市内換金状況：令和2年度14,960枚、7,480千円  
：令和3年度162,568枚、81,283千円  
※1枚500円だが郷土博物館は440円で換金
- 四万十川自然体験強化事業 4,351千円  
観光需要の回復のため屋外の新規体験型メニューを造成  
R2：ライフジャケット75着購入(501千円)  
R3：SUP2～3人用11艇、7人用6艇、パドル75本(3,850千円)
- マイナンバーカード普及促進事業 88,412千円  
カード受付期間：R3.1.4～3.31 地域振興券使用期間：R3.1.15～6.30(500円×10枚綴)  
配布冊数：18,072冊(内WESTOSA:1,368冊)  
換金枚数：176,823枚 換金金額：88,412千円(176,823枚×500円)

# 3 令和3年度上半期の各産業分野の動き①（主なもの）

分野 令和3年度上半期

1 産地としての維持・強化【P. 6】

- ぶしゅかんの産地化づくり【農AP1】
  - ぶしゅかん普及促進事業  
ブランド化確立等業務（ぶしゅかん生産者組合）  
地域おこし協力隊を配置（9/1）しPR・販促活動を推進
- 栗の産地再生【農AP3】
  - 栗暮プロジェクト  
西土佐橋地区実証農園運営、水田を栗園に転換（0.21ha）
- 米ナスの振興【農AP4】
  - 道の駅でナスフェス開催、ガブっと米ナスキャンペーン（西土佐地域産業振興推進協議会）
- 有望品目の産地強化【農AP5】
  - わさび実証実験2作目管理、レンタルハウス整備事業、野菜価格安定事業など
- 環境保全型農業の普及・啓発
  - 環境保全型農業直接支払交付金事業（33ha）
  - 環境保全型農業推進事業（19a）
- 先端技術を活用した園芸施設や園芸システム等の普及促進【農AP8】
  - 次世代園芸ハウス事業化に向け協議を実施
- 地域内農業者の共同生産体制の構築【農AP13】
  - 西土佐地域で米ナスの共同選果の実証実験（JA高知県）

2 地元農畜産物の利用・販売促進【P. 8】

- 直販機能の強化【農AP15】
  - JAグリーンランドオープン（4月10日：JA高知県）  
売り場面積は旧施設の1.5倍で幡多地域最大級、イートイン完備、2F調理室、駐車スペース増大
- ブランド化の推進【農AP16】
  - 具同小学校でのしまんと農法米の授業等
  - 40010日プロジェクトロゴの活用拡大（7月に5類型を追加商標登録）  
食肉、食用魚介類、菓子、パン、海藻類、野菜、果実、清涼飲料、日本酒など

3 担い手の確保・育成【P. 9】

- 新規就農者の確保育成、認定農業者の育成【農AP20~24】
  - 新規就農者、認定農業者への支援やフォローアップを継続  
R3新規就農研修希望0名（研修中：中村2名、西土佐0名）  
認定農業者：131名（R3.3.31）
- 集落営農の推進【農AP9、10】
  - 組織化・法人化への誘導、既存組織のフォローアップ、広域化への協議  
集落営農組織31 法人組織7
  - 地域営農支援事業（上半期分補助予定額）  
ソフト事業1組織、180千円  
ハード事業4組織、21,905千円

4 農地の利用促進【P. 10】

- 圃場整備、中山間地域等直接支払、多面的機能支払、水田を栗園に転換を継続

橋実証農園

農事組合法人入田村

農業産出額と認定農業者数

年度	農業産出額 (億円)	認定農業者数 (人)
H26年度	34.0	137
H27年度	34.8	135
H28年度	40.1	133
H29年度	43.1	137
H30年度	41.8	139
H31年度	34.4	133
R2年度	-	131

農水産物等直販所の状況

年度	高知県 (百万円)	四万十市 (百万円)
H25年	8,964	1,156
H26年	9,333	1,237
H27年	9,845	1,303
H28年	10,287	1,312
H29年	10,061	1,301
H30年	10,468	1,348
H31年	-	-

農業産出額R6目標：45億円以上、認定農業者数R6目標：150人以上

戦略品目等の生産量

品目	H27	H28	H29	H30	H31	R2
ゆず	-	-	541.0t	-	-	-
しまんと農法米	-	-	52.8t	-	-	-
米ナス	-	-	-	-	-	274.1t
ぶしゅかん	-	-	-	-	-	26.7t
栗	-	-	-	-	-	18.3t

戦略品目等の栽培面積

品目	H27	H28	H29	H30	H31	R2
ゆず	-	-	44.1ha	-	-	-
しまんと農法米	-	-	17.59ha	-	-	-
ぶしゅかん	-	-	-	-	-	13.0ha
米ナス	-	-	-	-	-	4.52ha
栗	-	-	-	-	-	52.2ha

経営耕地等の状況

年度	借入耕地面積 (ha)	所有耕地面積 (ha)	経営耕地のある経営体数
H22年	473.9	888.0	1,361.9
H27年	505.2	726.2	1,042
R2年	517.7	547.0	768

経営耕地面積規模別面積の増減 (H27→R2)

規模	増減 (ha)
0.3ha未満	▲4ha
0.3~0.5ha	▲28ha
0.5~1.0ha	▲42ha
1.0~1.5ha	▲34ha
1.5~2.0ha	▲18ha
2.0~3.0ha	▲10ha
3.0~5.0ha	▲41ha
5.0~10.0ha	▲69ha
10.0~20.0ha	▲24ha
20.0~30.0ha	▲121

経営耕地面積規模別経営体数 (H27→R2)

規模	増減 (体数)
経営耕地なし	▲3
0.3ha未満	▲17
0.3~0.5ha	▲74
0.5~1.0ha	▲34
1.0~1.5ha	▲21
1.5~2.0ha	▲7
2.0~3.0ha	▲1
3.0~5.0ha	▲5
5.0~10.0ha	▲5
10.0~20.0ha	▲1
20.0~30.0ha	▲1

# 3 令和3年度上半期の各産業分野の動き②（主なもの）

**分野** 令和3年度上半期

**林業分野**

1 四万十の山づくり【P.11】

(1) 長期視点に立った産地づくり【林AP1～3】

- ・提案型集約化施業の推進を継続
- ・森林経営管理制度の運営（森林環境譲与税）  
森林所有者意向調査準備業務453筆、意向調査業務278名、奥鴨川作業道開設360m

(2) 林業事業者及び林業技術者の育成支援【林AP9】

- ・緑の雇用事業活用（R3新規2名）
- ・林業担い手育成支援事業（森林環境譲与税）  
緑の雇用で新規就業者を雇用する事業体を支援：6,480千円（60千円×12月×9名）

(3) 兼業型林業事業者の育成支援林【林AP10】

- ・原木増産推進事業（バックハウレンタル補助3名）

(4) 自伐林家及び集落組織等の育成【林AP11】

2 供給体制の強化【P.13】

(1) 木材・木工製品の生産の拡大・商品力強化【林AP12】

- ・市産材の杉板プランクの製造、販売（リバーベキュープロジェクト）

3 市産材の利用促進と販売力の強化【P.13】

(1) 木造住宅建築促進【林AP14】

- ・市産材利用促進事業の継続（申請見込30件）

(2) 市産材の利用促進及び情報発信の強化【林AP15】

- ・文化複合施設整備の市産材利用予定量：762.83m<sup>3</sup>（丸太材積）

(3) 四万十ヒノキブランドの確立【林AP18】

- ・四万十ヒノキの家見学、宿泊体験  
見学35名、宿泊延べ21組・107名（7月末現在）




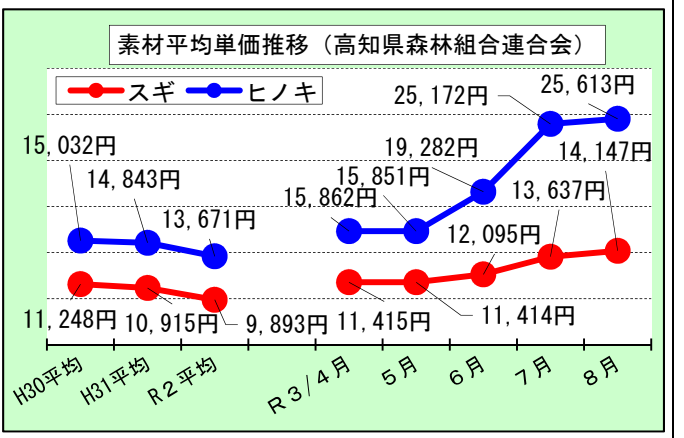
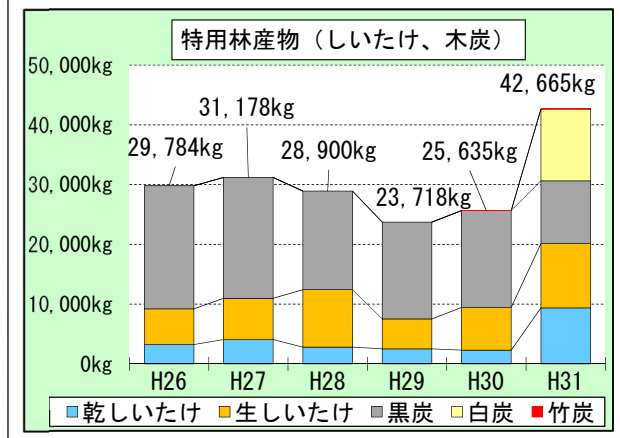
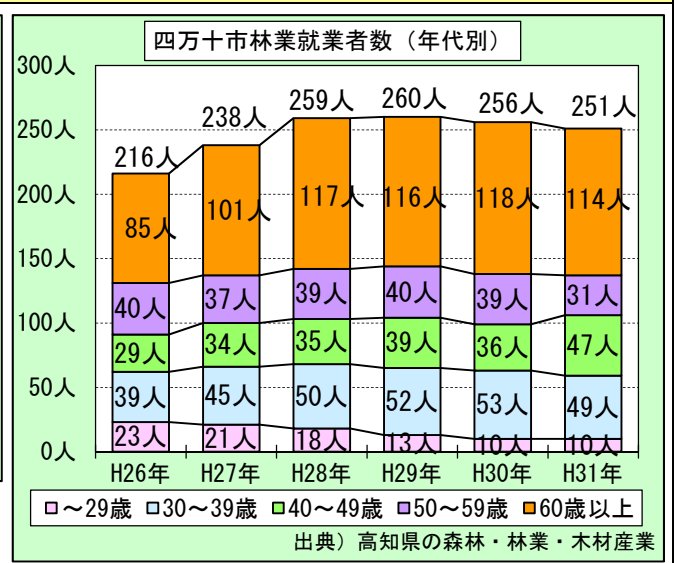
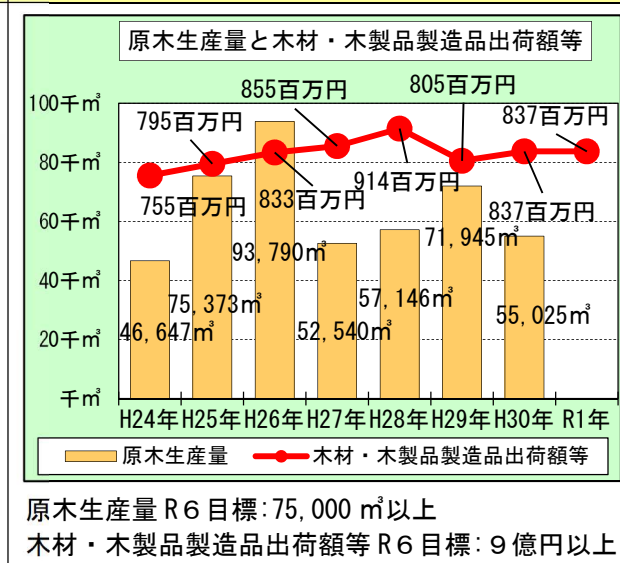
4 健全な森づくり【P.13】

(1) 鳥獣被害対策【林AP21】

- ・有害鳥獣捕獲支援、防護ネット設置支援、新規狩猟者の受講料支援の継続

杉板プランク

文化複合施設市産材利用イメージ

**水産分野**

1 水産資源の回復・生産量UP【P.14】

(1) 天然水産資源の回復・増殖【水AP1～2】

- ・スジアオノリ漁場整備（下流漁協）
- ・四万十川自然再生事業（国土交通省、四万十川自然再生協議会）  
アユの産卵場整備やモニタリング調査などを継続

(2) 栽培漁業等の推進【水AP3～5】

- ・種苗放流の継続（西部、中央、下流漁協）  
アユ、うなぎ、アメゴ
- ・ヒトエグサ漁場環境調査（下流漁協）
- ・中土佐町川エビ養殖視察（3月）、室戸市スジアオノリ陸上養殖視察（5月）

(3) 地域に根差した資源管理の仕組みづくり

- ・テナガエビ類の禁漁（9月～3月）継続、禁漁期間の周知

2 水産物の加工・販売促進【P.15】

(1) 販売力の強化と販路拡大【水AP11～12】

- ・活アユの豊洲市場出荷、四万十鮎ブランド化の取り組みを継続
- ・がねパエリア、あゆパエリア販売開始（鮎市場）

3 水産資源を活用した交流の拡大【P.15】

(1) 体験教室等の開催【水AP15】





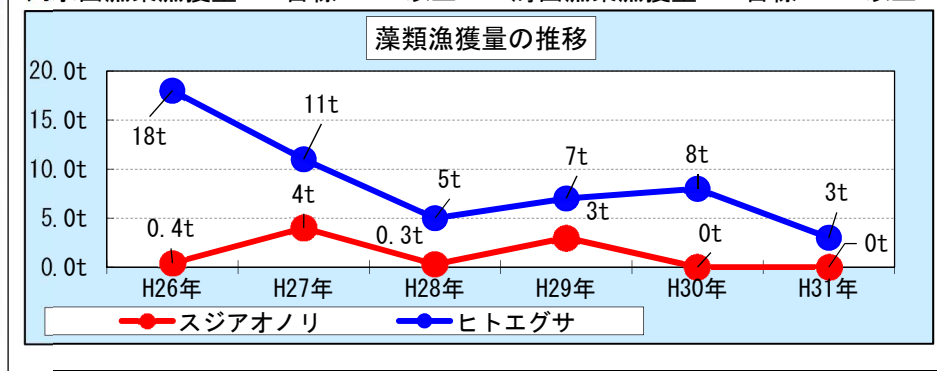
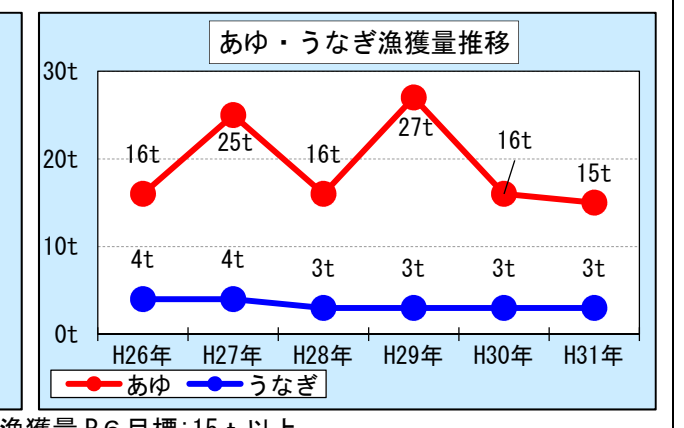
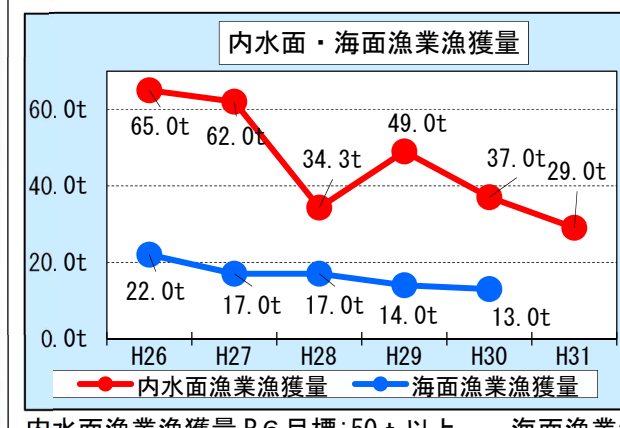
- ・川漁体験、四万十川ガキ体験、水辺の楽校の実施

稚アユ放流

室戸市スジアオノリ陸上養殖施設

川ガキ体験

水辺の楽校




### 3 令和3年度上半期の各産業分野の動き③（主なもの）

分野

令和3年度上半期

はれのばイベント



**1 顧客に選ばれる商工業の振興【P. 16】**

(1) 商品の販路開拓・販売促進【商 AP 4】

- ・地域産品販売促進事業（新型コロナ対策事業）
- ・ホームページ・ECサイト等の作成及び改修、商品開発・改良等販売促進
- ・交付決定3件、1,488千円（補助率4/5、補助限度額500千円）

(2) 中心市街地・商店街等の活性化【P. 16】

(1) 回遊性と集客力向上のための拠点づくり【商 AP10】

- ・中心市街地にぎわい拠点施設を核とした商店街等活性化事業
- ・拠点施設を核とした商店街活性化の協議（月1回）、商店街広報誌・街のポータルサイト制作、イベント実施など
- ・文化複合施設整備事業（R5完成、R6.4開館予定）
- ・建設工事開始（6/30、8/5起工式）、開館に向けての運営準備業務など

(2) 日常の賑わいにつながる仕組みづくり

- ・チャレンジショップ事業（天神橋商店街振興組合）
- ・チャレンジャー1名営業中（11月卒業、下半期は2名出店予定）
- ・まちなかにぎわい創出事業（新型コロナ対策事業）
- ・交付決定1件、891千円（補助率9/10以内、補助限度額100万円×連携事業の数（最大700万円））

(3) 経営指導などサポート体制の強化

- ・県事業承継・引継ぎ支援センター発足（4/1）
- ・市内の構成機関：中村商工会議所、四国銀行、高知銀行、高知信用金庫、幡多信用金庫など

**2 中山間地域の商業機能の確保【P. 18】**

(1) 小さな（田舎）ビジネスの推進【商 AP16～18】


- ・西土佐地域産業振興推進協議会を中心とした米ナスの振興（メニュー開発、キャンペーン）

**3 企業誘致【P. 18】**


(1) 情報通信関連産業の誘致促進【商 AP19～21】

- ・県と連携した企業誘致活動を継続

チャレンジショップ



ナスフェス

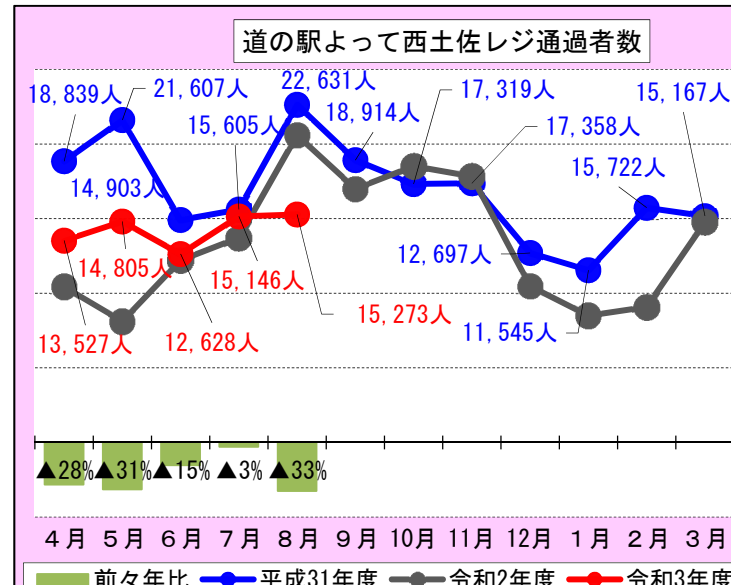


●中心商店街活性化協議会の検証指標（一部抜粋）

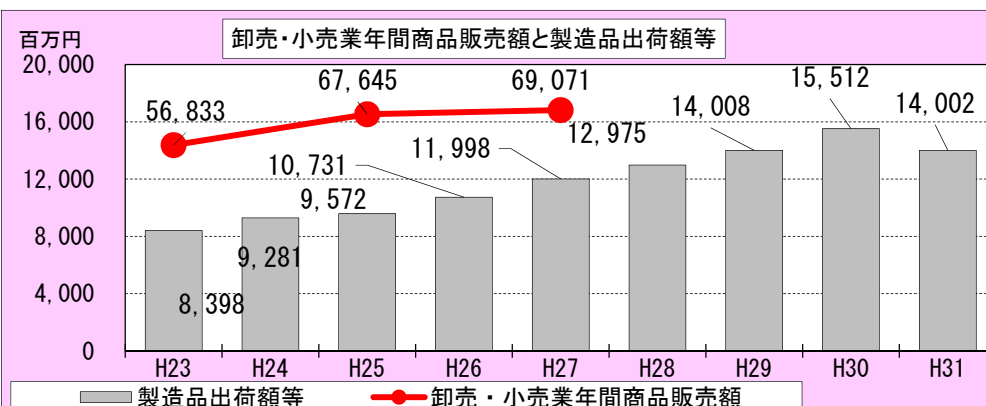
	H30 (基準値)	R1	R2	R6 目標値
はれのば 入込客数	—	—	105,611人	120,000人/年
中心商店街 売上	8億3100万円	6億9300万円	7億2500万円	9億2500万円
中心商店街 新規出店数	2店舗	6店舗	5店舗	10店舗(累計)

※中心商店街売上値は、天神橋商店街の半数以上の店舗の総売上  
※累計値はR1～R6まで

道の駅によって西土佐レジ通過者数

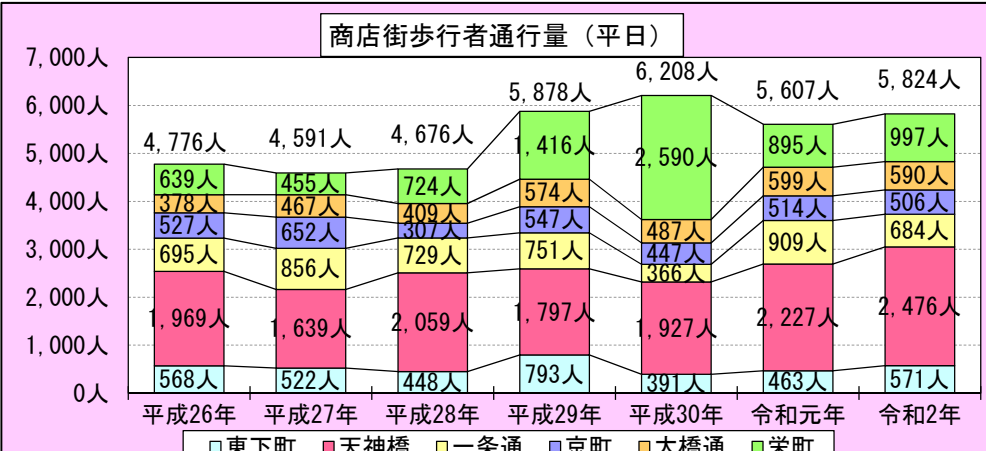


卸売・小売業年間商品販売額と製造品出荷額等

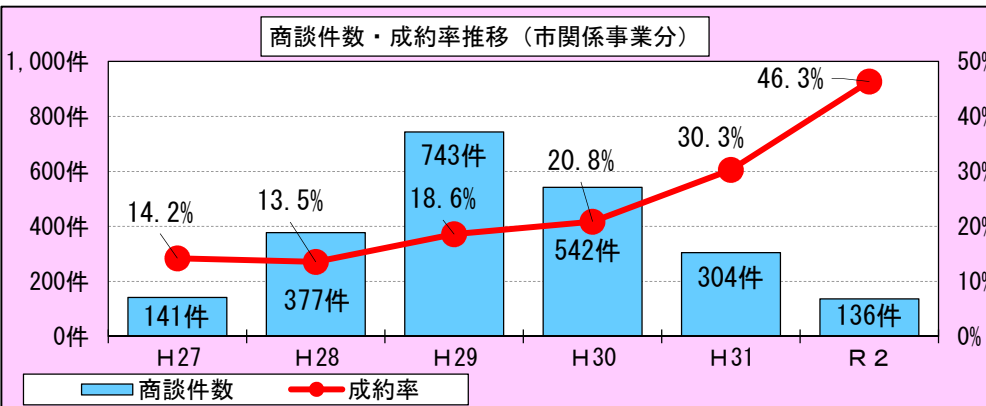


小売・卸売業年間商品販売額 R6 目標: 750 億円以上  
製造品出荷額等 R6 目標: 160 億円以上

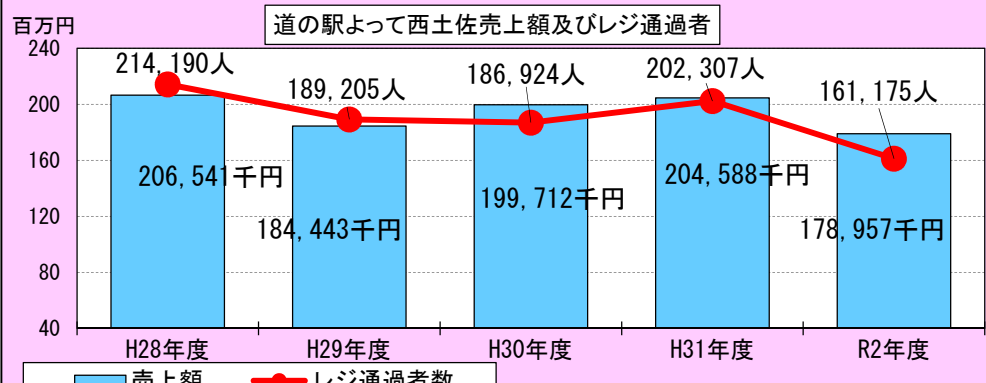
商店街歩行者通行量（平日）



商談件数・成約率推移（市関係事業分）



道の駅によって西土佐売上額及びレジ通過者



### 3 令和3年度上半期の各産業分野の動き④（主なもの）

分野 令和3年度上半期

1 滞在型の観光地づくり【P.19】

(1) 地域の観光資源、フィールドを活かした滞在型の観光商品づくり【観AP1～4】

- ・観光動向調査を継続（市観光協会窓口、佐田沈下橋周辺など）
- ・スポーツリズムの推進（ファイティングドックス公式戦、合宿誘致活動など）
- ・食のPV「来た人がいちばんおいしいしまんと西土佐」を作成、PR（9種類、1分30秒）
- ・リバーベキュープロジェクトによる食のPR（BBQ講演会、BBQ検定の実施）
- ・四万十クーポン発行（新型コロナ対策事業）  
R3.1月～6月 5,000円×市内2万泊（市内登録店：宿泊34、クーポン取扱345）  
換金実績 500円券177,528枚 88,764千円

(2) 広域連携による周遊観光の推進【観AP5】

- ・幡多広域観光協議会による商談やモニターツアーの実施、教育旅行受入

2 観光商品の外商の推進【P.19】

(1) 観光商品のセールス及び情報発信の強化【観AP6～7】

- ・商談会、セールス活動、モニターツアーの実施、教育旅行受入など（市観光協会、幡多広域観光協議会など）
- ・デジタルパンフレットの作成、SNS（インスタ、フェイスブック、YouTube）での情報発信
- ・リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～と連携したPR活動等  
かわらっこにメガサップ、タンデムサップの導入

3 おもてなしの向上【P.19】

(1) おもてなし環境の整備【観AP8～9】

- ・2次交通（川バスなど）の継続運行、インバウンド用バスパス発行
- ・星羅四万十・よって西土佐BBQ施設整備、いやしの里・学遊館・カヌー館の空調及びトイレ改修

4 組織力の強化と観光リーダーの発掘・育成【P.20】

(1) 観光人材の育成、確保【観AP15～16】

- ・観光ガイドミテイング、加ガイド養成講座、研修会、勉強会などを実施（市観光協会、幡多広域観光協議会）





観光案内所案内者数（日本人）

月	R1年度	R2年度	R3年度
4月	862人	403人	561人
5月	1,229人	457人	257人
6月	588人	457人	44%
7月	1,005人	436人	26%
8月	1,063人	604人	40%
9月	690人	407人	
10月	597人	418人	
11月	418人	418人	
12月	657人	418人	
1月	713人	418人	
2月			
3月			

観光案内所案内者数（外国人）

月	R1年度	R2年度	R3年度
4月	330人	21人	94%
5月	316人	22人	93%
6月	288人	6人	98%
7月	348人	17人	94%
8月	243人	34人	90%
9月	376人		
10月	367人		
11月	238人		
12月	164人		
1月	110人		
2月	42人		
3月			

GW・お盆・年末シーズンの観光客数（市観光協会）

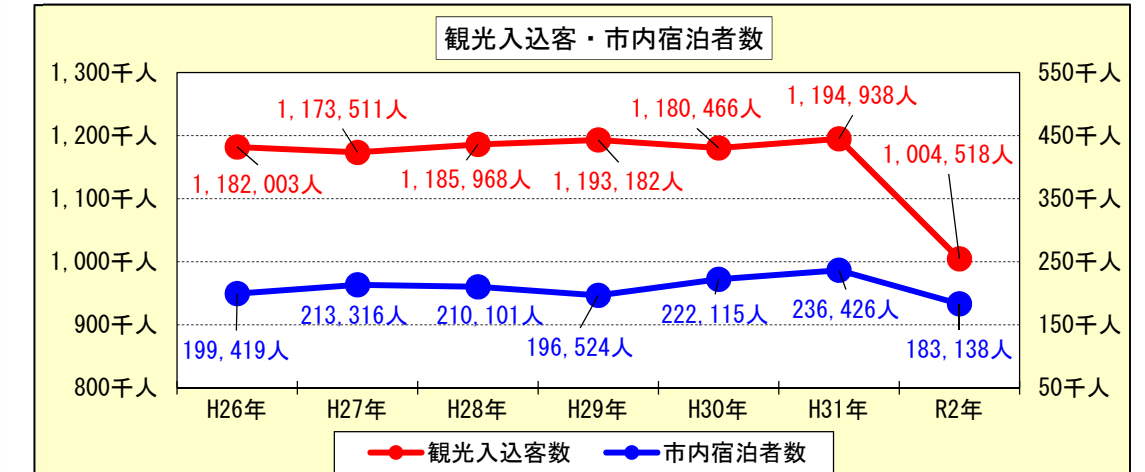
	市観光協会窓口			佐田沈下橋臨時案内所	
	4/28～5/6	8/11～8/16	12/29～1/6	4/28～5/6	8/11～8/16
R1年度	1,116人	279人	288人	14,221人	3,751人
R2年度	—	273人	67人	—	4,067人
R3年度	318人	100人	—	3,554人	1,583人
前々年比	▲71.5%	▲64.2%	—	▲75.0%	▲57.8%

※R2年度のGWは新型コロナウイルス拡大防止のため観光案内所を閉所 ※R3年度の佐田沈下橋臨時案内所は4/29～5/5の7日間のみ閉所

高知県内の観光入込客数

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
入込客数	4,243,000人	4,406,000人	4,412,000人	4,388,348人	2,667,823人
前年比	+3.8%	+3.8%	+0.1%	▲0.5%	▲39.2%

※県内の観光入込客数は、H25年から400万人を突破



観光入込客数R6目標:130万人以上 市内宿泊者数R6目標:25万人以上

